

## 刊行にあたって

「日常歯科臨床に役立つ画像診断を学ぶよい本はありませんか?」と、近年、歯科開業医の先生方からよく尋ねられます。口内法を主とする単純 X 線写真はデジタル化が進み、新規開業の先生方はほぼ100%デジタル X 線装置を導入し、歯科用コーンビーム CT (以下、CBCT) は販売台数が23,000台を超え、歯科医院の3軒に1軒の割合でCBCTを導入している現在の状況から、このようなお尋ねは当然と思います。

とくにCBCTの普及に伴い、保存治療や埋伏歯の治療、口腔インプラントや顎関節治療を中心に、CTを日常歯科臨床に応用する先生方が増加の一途を辿っています。しかしながら、歯科臨床医が画像診断に関する基礎的な知識、正常解剖およびデジタルワークフローなどを基本から学べる本は乏しいのが現状でした。また、CBCTをお持ちの50代以上の開業医の先生方は、その多くが学生時代にCTの原理や特徴および読影を学ぶ機会が乏しい状況でした。そのような背景のもと、本増刊号が発刊されました。

本増刊号は、日常歯科臨床の画像診断をトレーニングするように、修復補綴、矯正、口腔インプラント治療へのデジタルワークフロー活用および保険診療まで幅広く学べる本です。本書の特徴は各領域のエキスパートの先生方に、簡潔にわかりやすくを念頭に、きれいな臨床画像や実態像および図や表を利用し、臨床画像や図を追うだけでも理解できるように執筆をお願いいたしました。

全国の開業医の先生方が本書を利用され、画像診断を有効活用し、安全で良質な歯科医療を国民に提供し、健康増進および福祉向上の一助になれば幸いです。

最後に丁寧な編集作業をしていただいたデンタルダイヤモンド編集部野沢卓也氏と関係各位に、そして編者の要望を受け入れていただき、熱意をもって執筆いただいた先生方に深謝いたします。

2024年8月

日本大学松戸歯学部 放射線学講座

金田 隆